

アドミッションセンター

アドミッションセンター概要及び活動報告

アドミッションセンターは、入学者選抜方法の改善、中長期的な入学者選抜方法の在り方の策定、入学者選抜機能の検証、学生確保に係る広報活動等を行うことにより、継続的に優秀な学生を確保することを目的として設置されました。

アドミッションセンターは、次に掲げる事項について実施します。

- (1) 入学者選抜方法等に係る調査・研究
- (2) 入学試験データの分析・評価
- (3) 学部及び研究科からの求めに応じた入試に関する助言
- (4) その他センター長が必要と認めた業務に関すること。

また、アドミッションセンターは、各学部と共同し、次に掲げる事項について企画立案及び実施します。

- (1) 入学者選抜方法の改善に関すること。
- (2) 中長期的な入学者選抜方法の在り方の策定に関すること。
- (3) 入学者選抜機能の検証に関すること。
- (4) 入学後の学業成績の追跡調査に関すること。
- (5) 学生確保に係る広報活動に関すること。
- (6) 全国的な志願者動向を踏まえた志願状況の分析に関すること。
- (7) その他センター長が必要と認めた業務に関すること。

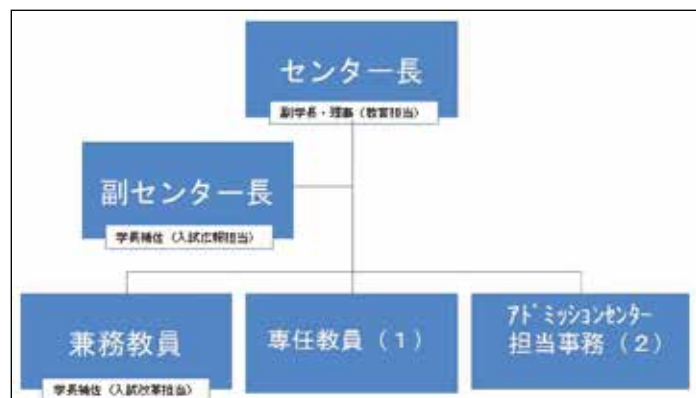
1. 調査・研究について

アドミッションセンターが行っている主な調査・研究は、以下のとおりです。

- (1) 入学者選抜方法等に関する調査・研究
- (2) 入学試験データの分析・評価
- (3) 受験生向け広報活動の企画立案と推進

2. アドミッションセンターの組織

センター長（副学長・理事（教育担当））、副センター長（学長補佐・入試広報担当）、兼務教員（学長補佐・入試改革担当）、専任教員（1名）、担当事務（特任専門員と課長代理の2名）で構成されています。（平成31年3月現在）



自己推薦型入試の導入(2020年度入試より導入)

(1) 導入の目的

鹿児島大学では、「学びたい力」(鹿児島大学への入学を強く希望する者)、および「学ぶ力」(大学の授業を受講できるレディネス*)を持った人材を求めていることから、新たな多面的総合的評価入試である「自己推薦型入試」を新設します。

鹿児島大学では現在、教育改革を推進しており、中でも入試改革は、学位の質保証のために必要な教育改革の一環と位置づけています。「自己推薦型入試」の新設により、入試を起点として、目標達成型・体系的な一貫教育における初年次教育への円滑な接続を目指します。

(*レディネスとは、学問の修得や学修には、一定レベルの知識・経験、心身の成熟などの素地が必要であり、これらの条件のことをいいます)

「学びたい力」(鹿児島大学への入学を強く希望する者)については、現役生や既卒生を対象とし、また、推薦入試に見られるような一高校からの人数制限枠等を設けず、鹿児島大学を第一志望とする受験生が、自らの意思で自由に出願できることとします。

「学ぶ力」(大学の授業を受講できるレディネス)については、個別試験として講義型試験を実施します。講義型試験では、①講義を主体的に聴いて要点を「キャッチ(思考・判断・理解)」し、②キャッチした要点を「メモ」し、③出題された設問等に文章で的確に表現する能力を評価します。

一般入試(前期日程)は主に知識・技能、思考力を、一般入試(後期日程)は主に思考力、意欲・関心、適性を重視しているのに対し、この自己推薦型入試は、学力の3要素の中で、思考力、判断力、表現力、主体性を特に重視します。

講義型試験では、大学入学後の授業(初年次教育)の導入段階での「学ぶ力」の形成力を確認することが目的であることから、必ずしも高等学校における各教科・科目の高度な専門知識を前提とせずとも、講義内容を理解できるように配慮し、志願する学部・学科等に関わらず同一の内容とします。

(2) 導入する学部・学科等

以下の8学部での導入が現時点で決定しています。法文学部人文学科(全コース)、理学部(全学科)、医学部保健学科看護学専攻、歯学部歯学科、工学部(学科未定)、農学部(全学科・全コース)、水産学部(国際食料資源学特別コース)、共同獣医学部獣医学科

(3) 選抜方法

大学入試センター試験の成績、講義型試験(2月上旬実施予定)、および出願書類・面接試験等の結果を総合して合格者を決定します。大学入試センター試験は、5教科7科目をベースとします。

講義型試験では、まず、高等学校の1コマの平均的な時間の範囲内で講義を聴講し、その間、講義内容をメモするなどして理解を深めます。その後、講義内容に関連した設問に解答する形式とします。

鹿児島大学主催 単独説明会の実施

(1) 実施の狙い

1. 地域貢献と地域連携の強化

特に、鹿児島県の地方部（離島を含む）に居住する高校生・高校教員との連携強化。

2. 鹿児島大学のステークホルダーに対して、鹿児島大学を理解してもらう機会の創出。

(2) 開催方針

大学に触れる機会の少ない鹿児島県内の地方部で、鹿児島大学への志望者が多い地域での開催を優先する。

(3) プログラム

<第一部>

1. 鹿児島大学の教育と研究

2. 鹿児島大学の入試の特徴

3. 鹿児島大学の学生生活（授業料減免・奨学金等）と就職支援

4. 鹿大生からのメッセージ（大学生活紹介・合格体験談等）

<第二部>

5. 個別相談会（学部別・入試・生活・就職ブース）

(4) 開催実績（直近3年）

<平成28年度>

- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 平成28年7月2日（土）開催
- ・大隅会場（鹿児島県立鹿屋高等学校） 平成28年7月9日（土）開催
- ・種子島会場（種子島中央高等学校） 平成28年7月22日（金）開催

<平成29年度>

- ・種子島会場（鹿児島県立種子島高等学校） 平成29年7月8日（土）開催
- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 平成29年7月15日（土）開催
- ・指宿会場（鹿児島県立指宿高等学校） 平成29年7月22日（土）開催

<平成30年度>

- ・大隅会場（鹿児島県立志布志高等学校） 平成30年7月7日（土）開催
- ・奄美大島会場（鹿児島県立大島高等学校） 平成30年7月14日（土）開催
- ・徳之島会場（鹿児島県立徳之島高等学校） 平成30年7月21日（土）延期
（台風接近のため）
平成30年9月29日（土）中止
（台風接近のため）

高等学校での大学説明会の実施

(1) 実施の狙い

南九州地域（鹿児島県・宮崎県・熊本県）からの安定的な志願者確保のため、高校生に対し、鹿児島大学の教職員が直接高校を訪問し、教育・研究や入試内容を説明することで、鹿児島大学への理解と共感を深めてもらう機会とする。

(2) 概要

<実施時期>

入学者選抜要項公表後の7月中旬から9月下旬

<形式>

鹿児島大学の教職員が高等学校を訪問し直接生徒に説明を行う。

<説明内容>

- ・入試説明（教科・科目及び配点、主な変更点）
- ・教育・研究内容（本学が派遣する教員の特色ある研究紹介等）
- ・学生生活（入学料・授業料（免除制度も含む）、奨学金、サークル活動、学生寮）
- ・就職状況
- ・その他（高等学校からの要望事項）

(3) 導入によって期待される効果

南九州地域（鹿児島県・宮崎県・熊本県）から、鹿児島大学で学びたいという強い意欲を持った志願者の増加。

(4) 平成30年度実績

番号	月 日	高等学校等名	参加生徒数	担当学部等
1	7月13日(金)	天草拓心高校 マリン校舎	9	水産学部
2	7月17日(火)	小林西高校	19	AC、入試課
3	7月19日(木)	熊本学園大学付属高校	84	理学部
4	7月25日(水)	大口高校	70	AC、入試課
5	7月25日(水)	尚志館高校	91	AC、入試課
6	7月26日(木)	高鍋高校	20	AC、入試課
7	7月26日(木)	八代清流高校	73	教育学部
8	7月26日(木)	出水高校	20	法文学部
9	7月27日(金)	国分高校	45	法文学部
10	7月27日(金)	筑紫中央高校	14	AC、入試課
11	7月27日(金)	東稜高校	30	AC、入試課
12	7月30日(月)	下関南高校	15	AC、入試課
13	8月28日(火)	芦北高校	23	農学部
14	8月29日(水)	志學館高等部	35	医学部医学科
15	9月7日(金)	宇土高校	97	AC、入試課
16	9月15日(土)	宮崎学園高校	175	AC、入試課
計 16校			820	

高等学校等からの大学訪問受け入れの実施

(1) 実施の狙い

将来の受験候補者や受験候補者を指導する指導教員、ならびに、将来の受験候補者の保護者に実際に鹿児島大学のキャンパスに来ていただき、鹿児島大学を体感していただくことで、受験候補者の裾野を広げるため。

(2) 概要

<実施時期>

平成30年5月～12月

<形式>

鹿児島大学教職員からの大学概要説明、およびキャンパス内の見学。

その他、訪問校のニーズに沿って可能な範囲で対応する。

(3) 平成30年度実績

番号	月日	高等学校名	学年等	訪問者数				説明者
				生徒等	教諭	保護者	計	
1	4月16日(月)	垂水高校	2年生	21	1		22	入試課、図書館
2	6月27日(水)	指宿高校	PTA		2	45	47	入試課、図書館
3	6月27日(水)	志布志高校	PTA		4	30	34	医保
4	6月28日(木)	鹿児島実業高校	PTA		3	15	18	入試課、法文、教育、理、工、農、水産
5	6月29日(金)	武岡台高校	PTA		2	43	45	入試課、図書館
6	7月3日(火)	伊集院高校	PTA		3	60	63	アドミッションセンター、法文、工、農
7	7月3日(火)	鹿児島高校	PTA		3	71	74	入試課、図書館
8	7月4日(水)	鹿屋女子高校	2年生	37	3		40	入試課、法文、教育、理、医保
9	7月5日(木)	川辺高校	PTA		2	35	37	入試課、博物館
10	7月13日(金)	錦江湾高校	PTA		3	38	41	入試課、教育、農
11	7月19日(木)	蒲生高校	PTA		2	11	13	入試課
12	7月24日(火)	出水中央高校	1年生	57	4		61	入試課、博物館、図書館
13	7月25日(水)	志布志高校	1年生	16	3		19	入試課、図書館
14	7月26日(木)	鹿屋高校	2年生	260	4		264	アドミッションセンター
15	7月26日(木)	鵬翔高校	2、3年生	100	3		103	入試課
16	7月26日(木)	曾於高校	1年生	37	3		40	法文、農、図書館
17	9月21日(金)	宮崎大宮高校	PTA		2	10	12	法文、教育、工、医保
18	9月26日(水)	鹿児島玉龍中学校	PTA		1	59	60	入試課、法文、医保、図書館
19	9月27日(木)	熊本県立鹿本高校	PTA		3	8	11	入試課
20	10月2日(火)	熊本県立第一高校	PTA		1	44	45	入試課、図書館
21	10月3日(水)	楠隼高校	PTA		1	14	15	入試課、図書館
22	10月5日(金)	出水高校	PTA		2	23	25	入試課、焼酎・発酵学教育研究センター
23	10月11日(木)	静岡県立掛川西高校	教諭		2		2	入試課
24	10月11日(木)	タイ王立ナワミン学校 (鹿児島東高校の姉妹校)	※	7	4		11	入試課、グローバルセンター
25	10月16日(火)	明桜館高校	1、2年生	67	4		71	入試課、教育、工、農
26	10月19日(金)	鳥取県立米子工業高校	教諭		2		2	入試課、工
27	10月31日(水)	川辺高校	1年生	64	7		71	入試課
28	11月8日(木)	川薩清修館高校	1年生	15	2		17	入試課、工、農、図書館
29	11月13日(火)	指宿高校	1年生	88	4		92	入試課
30	12月6日(木)	鹿屋中央高校	1年生	40	3		43	入試課、法文、教育、工
31	12月13日(木)	曾於高校	1年生	15	2		17	入試課、農(模擬授業)、博物館、図書館
32	3月28日(木)	屋久島高校	3年生	2		1		入試課
本年度合計 32校				826	85	507	1,415	
(参考)平成29年度 23校				746	79	385	1,210	

秋季オープンキャンパスの実施

(1) 実施の狙い

オープンキャンパスは例年8月上旬の夏季に開催をしているが、平成29年度から、秋季にも開催している。本学の魅力について高校生に情報提供することで、本学に一層の興味・関心を持ってもらい、志願者増に結びつけるとともに、魅力ある講義等を体験してもらうことで、参加者に本学で是非学びたいという動機付けを図る。

(2) 概要（平成30年度）

<対象>

高校生、保護者、高校教諭

<実施日時・場所>

大学祭期間中に実施

平成30年11月17日（土） 13時～17時 稲盛会館

<内容>

- ・体験講義（文系・理系）
- ・学部別キャンパス探検（郡元キャンパスの6学部）
- ・大学進学相談会（全学部）



(3) 平成30年度実績

開催日時	申込者数
体験講義（理系）：14時～15時15分	39
体験講義（文系）：15時30分～16時45分	28
学部別キャンパス探検：14時～16時45分	156

理系・文系それぞれの先生による生の講義を体感する「体験講義」や、郡元キャンパス内の各学部の施設を教職員や大学生が案内する「学部別キャンパス探検」、入試や大学進学などの疑問にお答えする「大学進学相談会」といった企画を実施するほか、今年は法文学部・工学部で学部独自の企画も行われました。

各企画に県内外よりたくさんのお申し込みを頂き、また、当日も多くの方にお越しいただきまして、盛況のうちに終了しました。

アドミッションセンター

スタッフ紹介

武隈 晃（教育担当理事・副学長・アドミッションセンター長）

平成26年4月のアドミッションセンター設置以来、5年間にわたりセンター長を勤められた清原理事の後任を拝命しました。求められる「教育の質保証」と有為の人材輩出のため、アドミッションポリシーに基づいた入試・入学者選抜の実施はその基点となるものです。センターはその基盤を形成すべく使命を果たすとともに高大接続改革の先導的役割を担っていく必要があります。令和2年度入試から導入する「自己推薦型入試」、令和3年度から始まる新テスト、初等・中等教育における教育課程改革に即応した令和7年度以降の入試改革など、しばらくは改革の取り組みが続きます。皆様のセンターに対する御理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

野口 和行（アドミッションセンター兼務教員 学長補佐（入試改革担当））

平成30年度より入試改革の学長補佐を担当しております。2020年度入試で大学入試センター試験が終了し、いよいよ2021年度入試から、共通テストが開始されます。本学では平成31年度入試より多面的・総合的入試の一つである自己推薦型入試が導入されますが、課題解決能力を身につけた人材の輩出に向け、思考力、判断力、表現力、主体性、協働力などの能力を評価する多面的、総合的入試制度が求められています。より多くの受験生が受験しやすく、また継続的に優秀な学生を確保できるよう、教職員の皆様のご協力をいただきながら、入試の改善・改革に取り組みたいと思っておりますので、よろしくようお願い申し上げます。

太田 一郎（アドミッションセンター兼務教員 学長補佐（高大接続・入試広報担当））

入試担当学長補佐という立場で主に広報を担当しています。少子化の中で大学の方針に沿った優秀な人材を確保するためには、学生の入試と入学後の成績分析等を踏まえて入試制度を見直す必要があると考えています。現在、2020年度入試からの多面的・総合的入試の実施に向けてセンター教職員が一丸となって活動しておりますが、その実現のために、各学部の教職員の皆様にはより一層のご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

竹内 正興（アドミッションセンター 准教授）

鹿児島大学にアドミッションセンター専任教員として着任して5年目になります。

業務を遂行する上で心掛けていることは、「挑戦する気持ちを忘れない!」ということです。

車は常に安全運転でなければなりません、18歳人口が減少する中での優秀な人材の安定的な確保は、前年度踏襲の安全運転のみでは成し遂げられません。

また、新しい企画に挑戦するにあたっては、3現主義（現場に行く、現物に触れる、現実を知る）を心掛けることが大切であると考えています。

進取の精神で、必要とされる人材となれるよう取り組んで参りますので今後ともどうぞよろしくようお願い申し上げます。

川端 訓代 (アドミッションセンター特任助教)

今年の4月からアドミッションセンターに着任しました。入試と入学後の成績の追跡調査を主に担当しています。調査を通して入試の改善に資するデータを提供できるよう取り組みます。着任前は理学部にてポスドクとして研究を行なっていましたが、アドミッションセンターで入試業務に関わる中で鹿児島大学のことを全然知らない事に驚きました。本学で学べる分野の広さ、学生への手厚い支援など私がワクワクした情報を出来るだけ多くの高校生や保護者に鹿児島大学の魅力として伝えていきたいと思えます。これから、どうぞよろしくお願ひします。

中間 彩加 (アドミッションセンター特任専門員)

平成28年に当センターの事務補佐員として採用されてから3年目になります。

いよいよ新しい入試のスタートを前に、当センターの活動の一つひとつが多くの方々を支えられていることを、日々の業務の中で痛感しております。いつも支えてくださる皆様への感謝の気持ちを忘れずに業務に取り組んでおります。

また、今後は特任専門員として、入試広報業務などを通して、今までよりも、さらに多くの方と関わることとなりますので、より一層、気を引き締めて、相手の思いを理解した業務遂行を心がけてまいります。

甲斐 俊英 (入試課専門職員 (アドミッションセンター担当))

平成31年4月付けで現職に異動になりました。これまで入試関係業務に携わる機会がほとんど無かったため、一からのスタートになります。本学では、令和2年度入試から自己推薦型入試を導入しますが、本入試が確実に実施されるよう微力ながら、精一杯尽力させていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。